

運転免許返納支援を行った一例 ～認知症カフェから認知症初期集中支援 チームへの介入を通して～

荒尾市役所 高齢者支援課
地域包括支援センター

荒尾市概要

人口 53,636人

(平成29年4月30日現在)

高齢者人口 17,875人

高齢化率 33,33%

日常生活圏域 3圏域

地域包括支援センター 直営1ヶ所

認知症地域支援推進員 1人

認知症カフェ①

- 開設 平成27年9月
名称 おれんちのカフェ
開催頻度 毎週2回(毎週月・木曜日10:00～13:00)
参加費 150円
参加者 毎回平均15～20人
実施主体 特別養護老人ホーム白寿園



認知症カフェ②

開設 平成29年6月

名称 cafeあおば

開催頻度 毎週1回(毎週水曜 10:00～12:00)

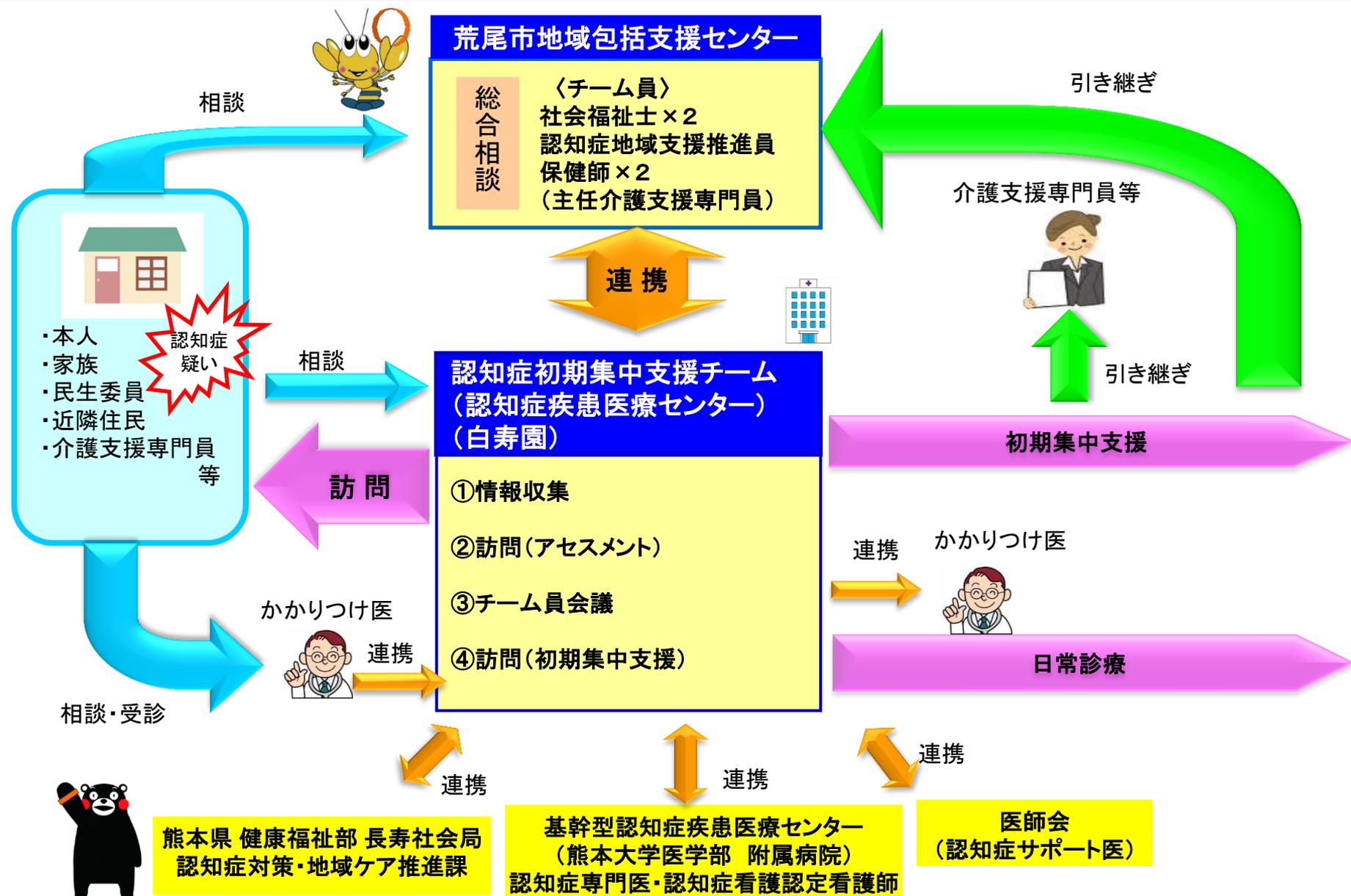
参加費 200円

実施主体 荒尾市社会福祉協議会

認知症初期集中支援チーム設置場所

- 事業の実施主体 荒尾市
- チームの設置場所
 - ① 認知症疾患医療センター
(荒尾こころの郷病院)
H25年度～
 - ② 社会福祉法人 杏風会白寿園
H27年度～

荒尾市認知症初期集中支援チームの体制図



70代女性。一人暮らし。敷地内に長男夫婦が同居。キーパーソンは長女。

【相談経緯】近隣住民より、記憶障害、自動車事故も起こしているため、運転が心配。

近隣住民

・ 物忘れ、自動車運転の心配

認知症
カフェ

・ 不定期での利用開始
・ 見守り

認知症初期集中支援チーム

・ 継続した自宅訪問
・ チーム員、家族、主治医、警察と連携
・ 運転免許返納支援

認知症初期集中支援チーム支援経過

包括・認知症地域支援推進員
家族の心理的サポート
関係機関との連絡調整



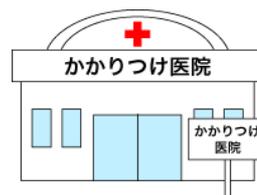
チーム・社会福祉士
本人・家族のアセスメント
介護サービス利用調整



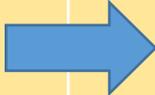
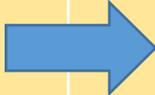
運転免許返納支援
かかりつけ医訪問
警察署訪問
金銭管理について
介護保険申請

計 12回訪問

運転免許自主返納
介護保険要介護1
(通所リハ利用・
週2回)
家族・近隣住民
(見守り等)



介入時・介入後アセスメント

評価項目	介入時		介入後
DASC21(認知機能障害と生活機能障害の評価)	41/84		43/84
DBD13(行動・心理症状の評価)	13/52		19/52
Zarit8(家族の介護負担の評価)	12/32		8/32

今回の支援を通して

- 近隣住民から認知症カフェ、認知症初期集中支援チームにつながり、多面的に支援できたことで、運転免許返納手続きを行うことができた。主治医や警察と連携して支援を進めたことが気持ちの変化につながったのではないだろうか。しかし、運転免許返納後の優遇制度など、課題は多く残されている。免許返納後も、認知症高齢者が安心して生活し続けられる制度・地域づくりが必要である。